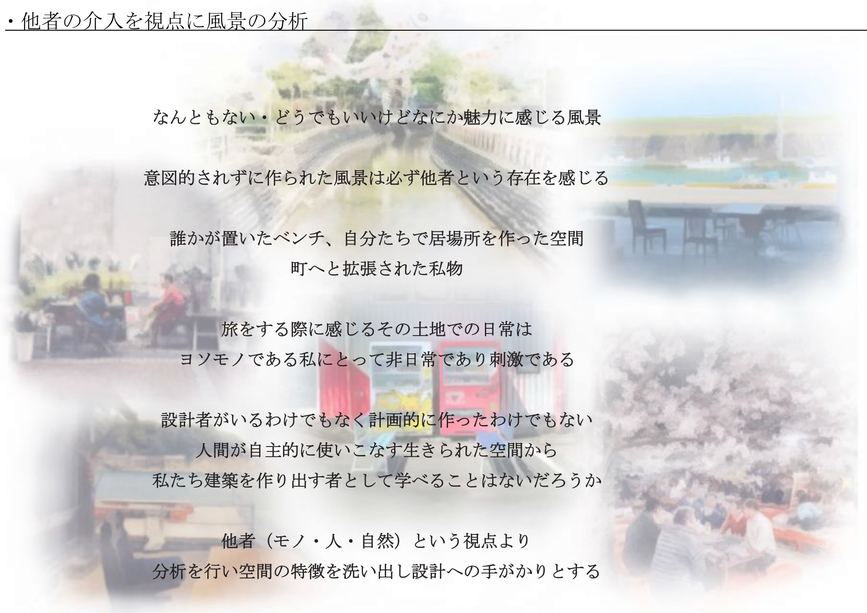
・他者の介入を視点に風景の分析



なんともない・どうでもいいけどなにか魅力に感じる風景

意図的されずに作られた風景は必ず他者という存在を感じる

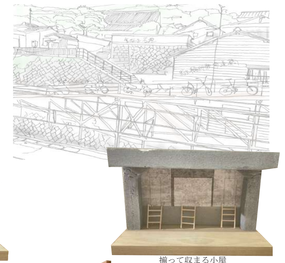
誰かが置いたベンチ、自分たちで居場所を作った空間
町へと拡張された私物

旅をする際に感じるその土地での日常は
ヨソモノである私にとって非日常であり刺激である

設計者がいるわけでもなく計画的に作ったわけでもない
人間が自主的に使いこなす生きられた空間から
私たち建築を作り出す者として学べることはないだろうか

他者（モノ・人・自然）という視点より
分析を行い空間の特徴を洗い出し設計への手がかりとする

独り占めした軒下空間



揺って収まる小屋

神聖な場所にかけられた屋根

隙間を見つけモノを置く

フレーミングされた遠景

ポツンと置かれた椅子

モノを対象とした場合

①モノ（プレーヤー）がつくりだす空間
②モノ（プレーヤー）を通してイメージできること
③モノ（プレーヤー）があることで風景が生きる場合

人間を対象とした場合

①人はどのような場所にモノを介入させているのか
②建築にモノの介入させる方法

①もの（プレーヤー）がつくりだす空間

・自立したモノが持つ要素

モノが持つ要素をある風景に置いたときに
できる場所の活用

・別の自立した要素もつのモノの組み合わせ

別々の目的によって作られたものの同士が即物的に同じ場所に
居合わせた時に新しい活用法がうまれる

・仮設的に空間を広げる

あるボリュームの空間を広げるモノを配置や屋根の拡張した時
に生まれる自由度の高い空間がうまれる
人間が持つ固定概念からはみ出た時に見えてくる生きた空間

②モノ（プレーヤー）を通してイメージできること

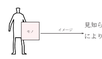
・自立したモノが持つイメージ

人間の記憶にあるイメージは、利用されなくとも
利用されているイメージを持つことができる。

居心人間を感知、空間が生きているように見える

・モノを通してイメージできる所有者

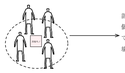
モノの使われ方で所有者の性格や人格が
イメージできる。



見知らぬ人でも他者を感じられるモノの性質
により空間に人間の個性が出てくる

・共有するモノを通してできたルールや秩序

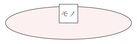
その場に置かれたモノの配置や使い方により
他者と共有できる場所の活用の仕方がイメージできる。
ある種モノを通して地域で興発的にできた共有された認識で
あり地域の個性のようなものが見えてくる。



③モノ（プレーヤー）があることで風景が生きる場合

・忘れられた風景のポテンシャルを再築する

もともと風景・場所には用途を失っただけで、忘れられたポテンシャルが眠っている
そこにモノが来ることによって可視化され生き返ることができる



・使い道の無かった建てものや場所が生き返る

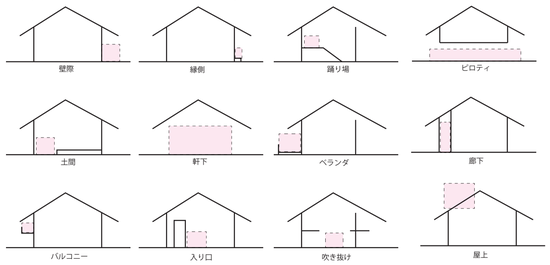
用途を失った建築にリノベーションやコンバージョンといった生き返り方がある
また、利用されていない場所は人々にとって環境の余白として使い方の工夫で
生き返る可能性を秘めている

①人はどのような場所に即物的にモノを介入させて居場所を作っているのか

・壁際　・踊り場　・川沿い　・階段　・公園
・段差　・ピロティ　・路地　・眺めの良い場所　・川
・窓際　・バス停　・ベランダ　・傾斜　・大空間
・空地　・路上　・廊下　・駅　・テント
・隙間　・土間　・バルコニー　・屋台　・紐
・地面　・部屋　・日向　・脇道　・入り口
・集会所　・市場　・アーケード　・屋上　・木影
・交差点　・グラウンド　・フェンス　・屋根上　・自然光
・踊り場　・軒下　・干し竿　・庭　・畳み

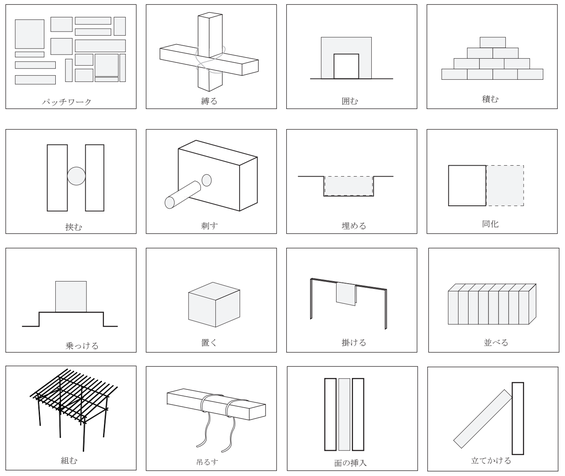
建築に介入する場合

人間がモノをどのような場所に置いてあるのかを表した図である。



②無名の風景にモノの介入させる方法

人がモノを操作するパターンを類型化したものである
利用者の建築を使いこなすきっかけになる



・風景の記録

台東区川沿いにあるベンチとプランター
私有地いっぱいにモノを置き室内から隠外へと
空間が拡張された。特に理由もなく、誰のモノで
もないような佇まいは町を彩っている

歌舞伎町、昼間から路上に集まる大人たち
電灯のドが居場所からの。それとも誰の邪魔にもならないように
人気のない場所を利用しているのか。わびもの顔で空間を作っている

高架下に居場所を見つけ私物を持ち込んだ形跡のある空間
漁師さんが利用しているのかな。それとも景色を楽しむた
めに利用しているのか。誰もいないモノだけが置かれた空間
は観賞のイメージを膨らませてくれる。

尾道傾斜のある土地に立つ建築。擁壁からはみ出てる建築から
転倒防止のために作られた柵なのか。ベランダとしては狭すぎる場所
ただ明らかに後付けされたかのような柵は住み手の工夫なのだろう

道から見た一枚。住宅の１階部を外部に開き、住み手の趣味を
見せびらかすかのようなファサードは、建築の素材や形態とは
違い、住み手の個性が建築のファサードとして表に出ている

モノが外壁にかけられ雑多さを演出。外で利用する道具なのか
利便性を重視したいがために外壁に釘を打ちモノをかけられる
ようにしている。この住宅だけでなく周辺の住宅も似た感じだ

旅行先で止まったドミトリー、戸締りのない開口部
最低限の道具を揃えてあるキッチン。誰かが置いて帰った差し入れ、
手作り感あふれる内壁、自分たちでなんでもする精神は町の個性であり
資本主義からは遠い町

古い建物の形態を異臭したかのような建築
新旧を表す外壁と屋根の素材は何か昔の名残を形態として
残し続ける思いが現れている

特にここに置くような指示もないのに高架下に台車が揃って並べて
ある。この地域のルールなのか、すべて一人の所有物ではないはず
だ。でもなぜここに集まっているのか。この景色から地域の特性が
見えてくる

小さな軒下空間空間を見つけたと言わんばかりのモノの介入
線路を移動するための機能が別の使われ方をしている在り方は
利用者が小さな空間を使いこなすきっかけを作っているのかも
しれない

なぜあの位置に開口部があるのか。人間のための開口部ではなく
モノのためなのか。人間が転落しそうな開口部は、何かの営みが行われ
ているのか考えるきっかけになる

ぽつんと置かれた椅子。マンションの１階ピロティに置かれた
椅子は利用者が居心地の良い場所を見つけたかのような佇まいである
室内のようにプライバシーを確保しつつ外部の空気を堪能できる位置
なのか

雑もかけられていない自転車が溢れる路地裏
人間同士が管理しあう地域では私物の管理は自由である
最低限の通れる道を残したらなんでも置いてもいいのだろうか
ルールはないがルールが見えてくる

線路をまたぐために設置された歩道橋に置かれた自転車やバイク
によって駐車場の機能をもった場所になっている。意図されてい
ない使われ方がされる事でできる新しい機能は利用者側が作り出
す空間である

・生きられた空間のまとめ

グループ	無名の風景	無名の他者	どのようにしたのか	生まれた空間の奥行
並び方	建築	モノ	乱れぬ並び	利用者や管理人の規範や美意識が他者に物語を想像させる
	場所	モノ・人	モノや空気を取り囲む	一体感が生み出されている。他者を惹い寄せる空間が生まれる
	景観	モノ・人	同じルールやモノの配置	要素の繰り返しは何かの主張する群となっている風景になる
	景観	モノ	等間隔	一定の落ち着いたリズムが生まれ、町の整頓された空間が生まれる
	場所	モノ	連続	アーケードのような奥へと導くような心の躍動を作り出す
	景観	モノ・建築	整列	適当な感覚は人の独特の配慮やバランス感覚が形となり表れている
	建築	ガラス沿いのモノ	窓越し越しの配置	ガラス窓沿いに配置させたものは町のギャラリーを作っている
	場所	モノ・建築	向かい合わせ	温かが会話しているような親密な空間が生まれる
	景観	モノ	縫取る	モノがガー列に並ぶと並びまれる
	壁	モノ・人	寄り添う	安らぎやモノの背景を作り出している
スケール	場所	モノ	まわりと違う大きさ	スケールの差が大きいと目の止まるり存在感を放つ
	場所	屋根	平べったい	高さや低さで空間の濃度が決まり色んな要素を覆う空間ができる
	景観	モノ	座せている	遠慮しているようだが凛と立つ姿は自然と応援したくなる
	景観	場所	余白	人が入りたくなるような場所は街路を歩く人のオアシスになる
	景観	モノ	気持ち大きめ	当宿力を感じおおらかな空間を作れる
そっと置いてみる	景観	バス停・駅	待ち合わせ場所	出会いと別れの空間であり、小屋もきっかけを待ち続けている
	景観	小屋	ポツンと建つ	使われ方や見た目のオリジナリティは風景に生気を与える存在
	景観	ボロ小屋	継ぎ合わせ	ワイルドな部材や試行錯誤の結果に愛着がわく
	景観	商売小屋	置いてみる	街の死角をみつけ置くことで動物の巣のような小さな空間ができる
	景観	祠	置いてみる	小さな聖なるやさしさはそこに誰かがいるような感情を生む
	Y字路	モノ・建築		活用方法が人々の眼をとめる場所をつくりだしてる
	場所	水	井戸や湧き水	豊かな子生活の一断面を思い起こさせている
	場所	モノ	生物退治	人々と生物の知恵比べはそれぞれの関係性を表すことができる
	景観	インフラのモノ	ポツンと置く	必要なものがポツンと立つ姿は寂しさと頼もしさを作る
	場所	椅子	取りあえず置く	場所に取りあえず置けば人が集う場所になる
	場所	ベンチ	取りあえず置く	様々なメッセージが感じ出来事のきっかけとなる場所になる
集まり方	場所	3つのベンチ	並べる	きっかけとなるものの横にベンチを置けば共通のグループになる
	景観	同じモノ	並べる	くっつき過ぎ離れすぎず、その距離感はカップルのように特別だ
	景観	全く同じモノ	眼対称	存在感の強い双子のような感覚になる
	景観	同じ3つのモノ	並べる	それぞれの差がありながらまとまりりのある微妙な境界を作り出す
	景観	モノ	大小	親子のようなスケールの違いは価値の転換が起きる
	景観	建物	似たもの同士の集合	風景に和やかな印象を作り出す
	場所	モノ	似たもの同士の集合	集合された姿は場所の連想をさせることが出来る
	景観	建築・モノ	微妙な違い	類似と差異が連動すると統一感がありながら退屈のない空間ができる
	場所	人・モノ	集まる	自然に似た者同士が集まることは自然の要素と似ている空間ができる
	景観	モノ	密集	集まることで一つの塊となり人の目のはまる引力を作り出す
	景観	モノ・自然	島のようなふくらみ	人や車に流れをつくり、島のようになりながら通を作る
	場所	モノ	積み上げる	やる気を喚起する。また積む必然性よりも快楽性も見出す
	場所	モノ	収まる	場所にモノを収める場所を見つけると収めたくなる人間の知恵やユーモアさを感じさせる
	場所	モノ	レイアウト	空間に動きができる。起点のできるアイデアが空間の意図された使い方から逸脱した場所ができる
散らばり方	場所	モノ	散らかる	人の自由さや気まままなふるまいが感じられる
	場所	モノ	ばらばらの集合	なんとなく落ち着く雰囲気を作り、風景をかもしぼかす
	景観	モノ	漂う	何も意図のない配置は自由でニュートラルな印象を作り出す
	場所・モノ	人	まぎれる	ごちゃごちゃしていることが居心地を感じるままなる過ごし方できる居場所を作る
	景観	自然	ぽつぽつ	自然と光やできた点の集まりはいつまでも佇んでいたい心地よさを作る
	場所	椅子・シート	置く	空の下に居場所を作り外のリビングルームを作ることができる
	場所	椅子・テーブル	置く	土間空間にモノを置けば誰でも参加できる空間ができる
屋根	小屋	庇	拡張する	小さな小屋の空間を広げるとともに小屋が持つ生命力があふれてくる
	廊下	モノ・音・におい	溢れてくる	人の気配を感じ、空間を豊かにすることができる
	道	ベンチ	置く	街の休憩所でありながら会話のできる場所になる
	建築	暖簾	足元を見せる	人の気配を感じ、その奥にある期待を膨らます
	室内	モノ	半透明	心理的な距離感を作り、内部での活動の展開を外部に作ることができる
	外観	自然	薄く構える	防衛性能がありつつ外部の要素を程よく取り入れる
	建築	モノ	坦根	個人的な活動が町なみを良くする楽しさがあり、町を生き生きとする
	景観	植物	密度を高める	隙根の切り込み次第で人の工夫を感じ町なみに愛想を作り出す
見せ方	景観	門	開口をあける	人を招き込むようなメッセージ性を作り出すことが出来る
	景観	トンネル	奥行を与える	風景の中に非常に幻想的で別世界への入口へと導く冒険心がかきたてれる
	景観	自然	鮮やかに芽コる	自然の隙間から見える景観はブリタクのような装飾のフレームをつくる
	景観	鳥居	結界をつくる	何かを超える強い意味がうまれる
	景観	建築・モノ	フレーミング	視線のぬけをつくり
	建築	自然	開口部をあける	暗い室内を作ると外の光が強調され漆喰のフレームができる
	建築	自然	フレームとの開口部	目の前に広がる風景をシンプルで大胆にトミることで生き生きとしたものができる
屋根	建築	庇	拡張する	内部空間のアクティビティを外部に拡張することができる
	場所	パラソル	置く	その場に集う人がにぎやかさをつくり同時にパラソルが持つパラエティが風景をにぎやかにする
	場所	屋根	架ける	人を雨風を防ぐだけでなく、下にあるモノを擬人化してみてしまう
	アーケード	店舗	屋根をかける	簡易的な覆いをかけるだけで店舗群を一体化させる
架ける	景観	モノ	間に架ける	人の流れを止める溜まり場が出来たり、フレーミングができたりする
	場所	タープ	架ける	仮設的な場所がうまれ自然までも場所に取り込むことができる
	場所	モノ	吊るす	人々の建築で喪失的な行動力と結びつき軽やかな風景を生み出す
	建築やモノ	モノ	干す	どこにでも物干しのように使うたくましさは庶民の暮らしを生み出す
	川や用水路	橋	架ける	生活と水の共存が生み出せるようになる
図案	建築・場所	鎖模様の庇	架ける	主張しすぎず間にフィットしながらも、簡易的に賑わいを生み出している
	景観	植物	玉散らし	日本人の複雑な自然に対する操作は町にユーモアさを作り出す
にぎやかし	建築・場所	提灯など	にぎやかに配置	少ない操作で明に誰かがつくったにぎやかさと温かさを感じる
	建築	看板	文字のバリエーション	文字は人を表すように建築に寄り添いたくなるような愛らしさを作ることができる。
	場所・景観	キャラ	置く	手作り感あるモノから作り手の願いや思いが感じられ、町に人々の思いやりが現れる
	壁	キャンバス	絵を描く	カラフルに書かれた絵は見るものに開放的な木ブクを与える
	場所	子ども	モノを置く	地域の子供たちが作り上げたものはとても厳かい光景を与える
	場所	プラスチックのもの	置く	日本に浸透している石油製品はカラフルで軽やかな存在感は風景を作りだしている
	地域	神興	移動する	地域にエネルギーをあたえ、ユーモアさとサービス精神が人を楽しませている
占領	地面	モノ・人	使い方を工夫する	無表情ともいえる地面を自由に使いこなすことで生き生きとした場所になる
	場所	モノ	占める	占領された場所は短期的ながらイベントの引容力を感じさせる
	場所	人・モノ	隙間を無くす	圧倒されるような雑然さは森のような秩序のように安心できる整然さを持った空間ができる
	場所	入・モノ	用途変更	どうにか工夫して楽しくやっていこうとする空間は人間の活力を感じられる
	場所	モノ	足す	ほったらかしの空間何かを補完するように置かれた空間は場所を整えるきっかけとなる
	場所	机	置く	人がいなくても誰かが何かをしている様子を思い浮かぶことが出来る
	場所	場所	使われ方	何もない場所を使いこなすことで生まれる用途は子どものような自由な発想力を生む
	モノ	人	使いこなす	使いこなされたモノがある場所はモノから出てくる温もりや空間が満たされている
	景観・場所	自然	まとう	建築を栄養としているような緑は建築と自然の共存を可能にしているようだ。
同調	場所	同じ向きのモノ	方向性を作る	同じ方向を感じる人やモノは風景に親密さを与える
	場所	人	良い眺めスポットを見つける	何かをながめるための舞台装置として町に居場所を作り出している
	建築・モノ	民	活用	日本人に身近な素材は風景にあってもなれない存在である。気を通して対話が生まれる
	場所・モノ	色	白に塗る	光の日知多空間を作り出すことが出来る
	建築	モノ	グレーにする	形や機能など様々な要素が混在している風景に統一感を与える
光	場所	自然	光を取り入れる	人口の光ではなく自然光を取り入れることで一日の時間の流れをゆっくり感じることができる
	日向	人	溜まり場	光を求めて人達を集めることができる
	景観・建築	光	奥を明るくする	光のある明るい場所に身を置くことで本能的に何かを訴えているように心理的安心感をもたらす
	建築	光	穿ちた天井	天から満たされた光は薄くし部屋だけでなく光をじわじわと広げていける
	場所	明かり	光らせる	夜の町ではスポットライトが光場所に人の気配を感じ、夜の町を演出する
	場所	光	片方から取り入れる	時間とともに変わる光を頼りにできるモノの配置や人の向きを決定する要素となる
	景観	自然	光と影	街に突如現れる２つの空間を作り出すことが出来る
	場所	光	取り入れることを図らす	わずかな光は室内にあるデリケートな要素を抽出することができる
影	場所	自然	影	自然と人が休みたくなるような心地よさを作り出すことができる
	場所	建築	影	ピロティ空間のように座ってもあごしたくなる半外部空間ができる
	場所	大きな屋根	架ける	壁がない分低コストで居場所を作り出すことが出来る
	軒下	モノ・人	入り込む	偶然的に見つけられた場所でありなぐら信用して使える居場所になる
	場所	モノ	少し持ち上げる	ステージに立つステージのような見る見られる関係ができる
	場所	モノ	水平に保つ	普段見ることがないものが、急にきれいに配置されると背筋がきりっとするような風景を作る
	場所	モノ	斜めを使う	水平と垂直の場所に急に出てくる斜めのモノは生き生きとしたリズムを生むことがある
	場所	土木	裂けるように作る	動きを感じさせるような計画は景色を生き生きとさせる
色	場所	色	存在感のある色を付ける	どこか地味だった景色の中には華やかなアクセントとして働く
	場所	色	朱色	神社など結界を作る要素として人間に認識された色である
	場所	色	同じ色でそろえる	同じ色でそろえられた空間にはちょっと盛り上がりを感じることができる
	場所	色	2色	ある程度統一感を出しながらバランスを保ちながらことしても主張できる
	場所	色	多彩	全体として強いインパクトを放ちモノだけで賑わいを演出できる
よせあつめ	場所	モノ	溢れだす	街に活気を与えることができる
	場所	モノ	細かいものの集合	柔らかい形として風景の中に現れる
	建築	モノ	付け足していく	持ち主の愛着と執着心を感じられる
	建築	モノ	バッチワーク	無秩序で偶発的に見える行為は建物を使い続けようとした持ち主の営みを感じられる
	建築	モノ	アタッチメント	屋上などに自在に工作された姿は即物的な造形美を町に感じさせる
	場所	モノ	寄せ集め	幕の内弁当のような絶妙なバランスを保っている
	空地	モノ	集める	人の営みを活気づかせるきっかけになる
みち	川	渡り橋	架ける	人が一人通れるほどの橋は渡るという行為をそのまま形にしたような軽やかさを生む
	景色	階段	長さや大きさ	移動するだけの機能ではなく、場所としての存在も主張できる
	場所	段差	シークエンス	緩徐のような空間のつながりを作り出すことができる
	道	ライン	方向性を作る	誘導するような線は目的を持った人へ経路がわかりやすいように伝える機能を持つ
	場所	モノ	何か沿うように配置	長く見通せる場所にモノを置くことで環境とモノの親しい関係が生まれる
おおらか	場所	水	人を呼ぶ	景観だけの美しさではなく、ひとの活動と密接にかかわりあった豊かな風景を作る
	場所	景色	活かす	人間にとって安らぎを求める場所であるための家具や風景の切り取りのルールができてくる
	大空間	何もない	なにもしない	誰かがいた気配を感じ空間に親密感を感じさせる
	建築	自然	ボリュームを無くす	ピロティ空間のように座ってもあごしたくなる半外部空間ができる
	場所	建築・自然	囲む	閉かれた感覚とともにそこにいる私たちにやすらかな時間を与える
	建築	構造	軽やかにする	柱梁は限りなく細く、鳥籠な形だけが残ることで風景と一体とできる
	建築	建具	あけたまま	自然の環境を取り込むことが出来るとともに他者を招き入れるきっかけになる
日常	場所	建築・モノ	途中経過	途中の状態は追加される余地を残したおおらかな空間ができる
	場所	洗濯物	どこでも干す	自由に干された服は緩和や並木と同じ要素を持ちモノから時間を感じられる
	道	生け花	並べる	街を活気づかせる装置として用いることができる
	街の必需品	入・モノ	ルール	地域により共有された場所にはおおらかな影響しながらも利用する町の様子がうかがえる
	建物	図書館	配置する	パブリックプライブリー建物を通じて共有するきっかけの装置となる
	建築	人	通に面する居場所	建築の顔として工夫された表情は町を豊やかにするきっかけになる
	場所	モノ	日常のモノを置く	そこに生きる人々の所作・習慣から生まれた風景ができる